

平成22年度「みんなの審査会(新さかい)」対象事業の市の方向性
(平成23年2月時点)

事業番号	⑦-4	事業名	図書館管理運営事業			
所管	教育委員会事務	局	中央図書館		総務	課
1. みんなの審査会でいただいた主な意見等						
<p>(検討委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器の不具合等があったとのことだが、事業シートでは、来館者数が20→21年度で減っている中で、1.5倍の目標値を立てているが、効率性が向上しているようには見えない。 ・簡単な調べ物がネットで済んでしまう状況の中、堺市の図書館はどうすべきかよく考える必要がある。 ・若年層、中高校生の利用を促進する必要がある。 ・分館のどこかに、市民協働ができそうなものを一部民間委託するというような考え方もできる。 ・民間委託するということはコスト削減だけではなく、質の向上ということもある。 ・図書館に行かないと得られないもの、インターネットでは得られないものを提供する場にすべき。 ・電子図書館等について、国立国会図書館が実施するものなら、あえて堺市がやらなくてもいいのでは。 <p>(市民審査員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子化するよりも図書館に来ることでメリットがあることを分からせる工夫をするべきだと思う。本をたくさん読ませるためにも椅子、机が足りないと思うので増やしてほしい。 ・書籍の電子化という世界的な潮流に対する一般市民の抵抗感をなくし、読書による世界の無限の広がり、読書の啓もうを促す取り組みをしてほしい。 ・サービス対象として子ども、老人、障がいのある方など、少々範囲が狭く感じる。大人の知的好奇心をもっと高めることも考えてほしい。 ・職員の確保が急務では。 ・正規職員の人件費が高すぎると思う。委託化してコストが下がったのであれば民間へ委託を進めるべきと思う。 ・2～3年後に変換点がある。重要性が薄れてきているので方向性の再検討が必要。 						
評価結果	①市で実施 (現行どおり)	②市で実施 (強化・拡充)	③市で実施 (要改善)	④実施主体の 見直し	⑤事業は不要 (廃止)	
市民審査員	1人	0人	12人	0人	0人	
検討委員(参考)	0人	1人	3人	1人	0人	
2. 市の方向性	改善(平成23年度中に見直しの検討を行い、平成24年度以降に見直しを実施)					
3. 1の意見等を踏まえた市としての取組方針、見直し内容						
インターネット等の普及により、市民の検索・調査能力が拡大する中、図書館ならではの精度の高い情報を提供していく。子育て支援や地域の歴史文化情報の提供、学習の機会(場)など、地域の情報拠点として求められているサービス内容等について、様々な視点から検討していく。						
4. 平成23年度予算への反映状況						
	平成22年度当初予算	平成23年度査定額	増減額			
事業費	305,298千円	304,819千円	▲479千円			
5. 今後の取組予定						
平成22年度下半期	電子書籍提供サービスを開始する。 インターネット蔵書検索システムの充実を図る。					
平成23年度	地域の情報拠点である図書館に子育て支援コーナーを設置し、子育て支援関連図書 の充実を図る。					
平成24年度以降	サービス内容等について、引き続き検討する。					